

岡山県感染症週報 2012 年 第 41 週 (10 月 8 日～ 10 月 14 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症警報』発令中です。

◆2012 年 第 41 週 (10/8～ 10/14) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 39 週 2 類感染症 結核 7 名 (10 代 男 1 名、40 代 男 1 名、50 代 男 2 名、
60 代 女 1 名、70 代 男 1 名、80 代 男 1 名)
- 第 40 週 2 類感染症 結核 14 名 (10 代 男 6 名、女 2 名、40 代 男 1 名、50 代 男 2 名、
80 代 男 2 名、90 代 女 1 名)
- 第 41 週 2 類感染症 結核 5 名 (20 代 女 1 名、40 代 男 1 名、女 2 名、70 代 女 1 名)
3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3 名
(O103: 30 代 男 1 名、40 代 女 1 名、型別不能: 40 代 女 1 名)

■定点把握感染症の発生状況

○RS ウイルス感染症は、前週より増加しました。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、第 41 週は 3 名の感染者があり、2012 年の第 1～41 週までの累計報告数は 153 名になりました。岡山県では、ひきつづき「**腸管出血性大腸菌感染症警報**」を県下全域に発令し、より一層の注意を呼びかけています。現在、第 30 週から 12 週連続で届出がされています。発生のピークの時期は過ぎたと思われませんが、今後も予防対策を行うことが重要です。詳しい発生状況などは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症警報 発令中!](#)』をご覧ください。
2. **結核**は、届出数が増加しました。平成 24 年 9 月、備前保健所管内の高等学校で結核の集団感染が発生しました。この事例について、10 月 15 日に「備前保健所管内集団感染対策委員会」を開催し、10 月 15 日までに発病者 3 名、感染者 32 名を確認したと発表しました。今後の対応として、感染者には発病予防のため内服治療を、健康診断未受診者には受診をすすめます。また、陰性であった学校関係者についても経過観察を継続し、来年 3 月頃に胸部エックス線検査を行うことにしています。
3. **RSウイルス感染症**の定点あたり患者数は、前週より増加し (定点あたり 1.00 → 1.17 人)、調査が始まった 2004 年以降の同時期と比較し、患者が多い状態で推移しています。発生状況や症状など、詳しくは『[今週の注目感染症](#)』をご覧ください。
4. **風しん**は、全国統計で 10 月 1～7 日の一週間に 52 名の届出があり、2012 年の累計報告数は 10 月 10 日までに 1,790 名になりました。昨年 1 年間の累積報告 (371 名) と比較して、4.8 倍になっています。8 月以降患者は減少傾向にありますが、依然として 1 週間に 60 人前後の届出がされています。地域別では、関東・近畿地方でひきつづき患者が増加しており、患者の中心は 20～40 代の成人男性で、この年齢層で全体の 65% を占めています。岡山県では、2012 年はこれまでに 20～40 代の男性 6 名の届出がありました。

([全国風しん発生動向調査国立感染症研究 HP](#)、[岡山県感染症情報センター HP](#))

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ			RSウイルス感染症		★★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		★

【記号の説明】

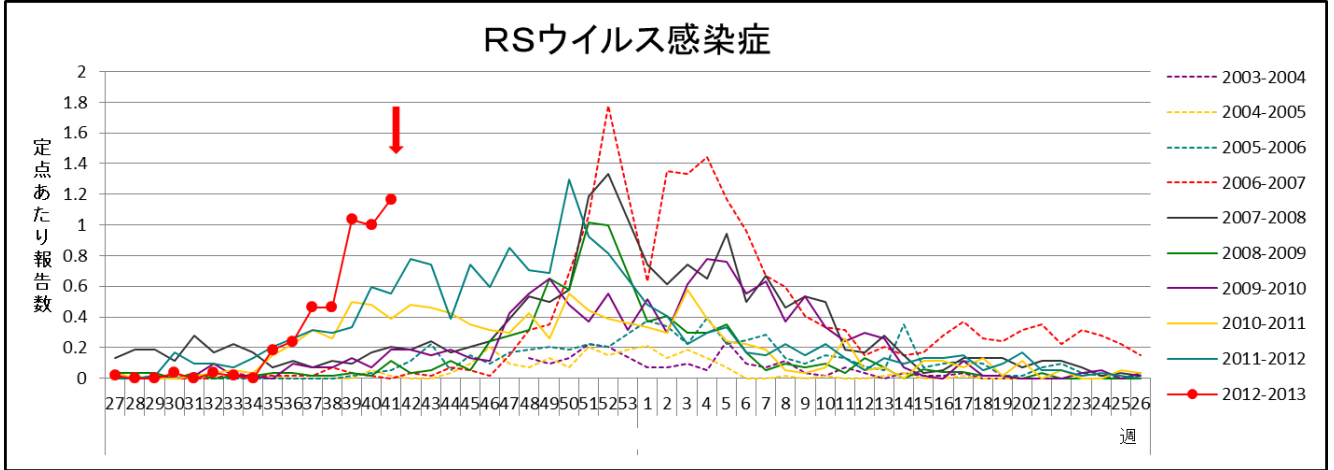
前週からの推移： ↓ : 2倍以上の減少 ↘ : 1.1~2倍未満の減少 → : 1.1未満の増減
 ↗ : 1.1~2倍未満の増加 ↑ : 2倍以上の増加

発生状況： 空白 : 発生なし ★ : 僅か ★★ : 少し ★★★ : やや多い ★★★★ : 多い ★★★★★ : 非常に多い

※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

今週の注目感染症

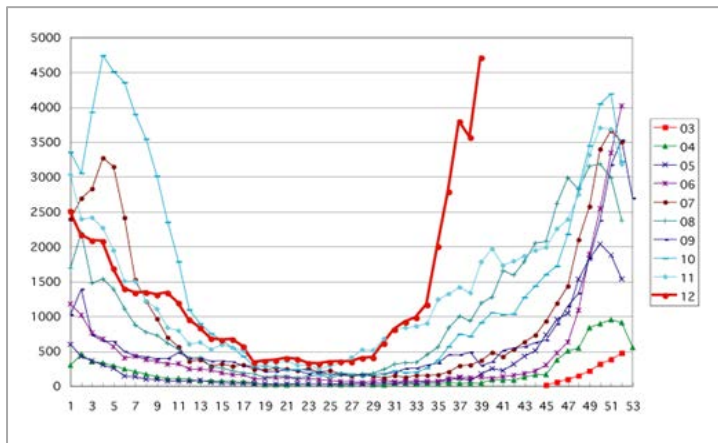
1. RSウイルス感染症



※RSウイルス感染症は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年27週～翌年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

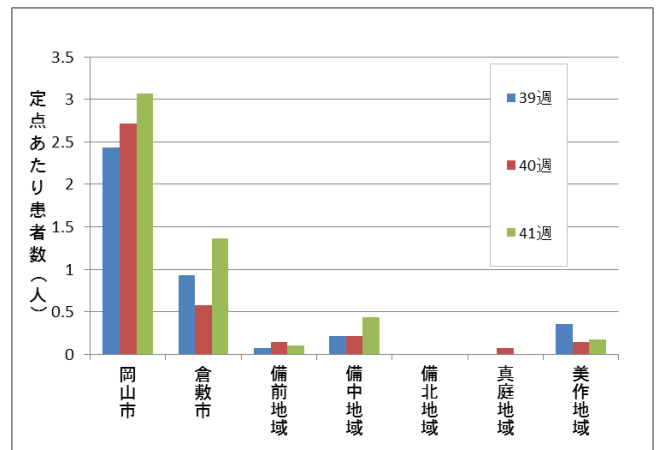
RSウイルス感染症は、前週より増加し（定点あたり1.00 → 1.17人）、2004年の調査開始以降の同時期と比較し、大幅な患者増加が見られます。患者は1歳以下の乳幼児が中心です。2012年第27～41週における累積報告数の年齢別割合は、0歳が43%、1歳が41%、2歳が8%であり、1歳以下で84%を占めています。地域別では、岡山市（定点あたり2.71 → 3.07人）で患者が多くみられ、全体の68%を占めています。全国でも、第39週はさらに増加しており、今後の動向に一層の注意が必要です。

全国RSウイルス感染症 過去との比較グラフ 第39週



(国立感染症情報センター HP より)

岡山県 RSウイルス感染症地区別発生状況



【RSウイルス感染症とは】

RSウイルスによる乳幼児の肺炎・細気管支炎などを起こす急性呼吸器感染症です。流行の中心は1歳以下の乳幼児で、乳幼児の肺炎の50%、細気管支炎の50～90%を占めるとされています。2歳までに、ほぼ100%の子供がこのウイルスの初感染を受けるといわれ、年齢を問わず、生涯にわたり感染を繰り返しますが、通常年齢が上がるにつれ、重症化することが少なくなります。そのため、大人がかかっていることに気がつかず、子供にうつしてしまうこともあります。(国立感染症研究所 感染症の話「RSウイルス感染症」)

潜伏期は2～8日で、発熱、鼻汁、咳などで発症し、軽症の感冒様症状から、重症の細気管支炎や肺炎などの下気道疾患に至るまで様々です。通常8～15日で軽快しますが、初めてかかる乳幼児では、しばしば肺炎や細気管支炎を発症します。1歳以下、特に生後6ヶ月以下の乳幼児では、無呼吸や急性脳炎などの重い合併症を引き起こすことがあり、入院を要することもあります。

RSウイルス感染症は、症状の重症化や合併症から、特に乳幼児期において非常に注意が必要です。お子さんの体調が悪い時は、早めに医療機関を受診してください。

保健所別報告患者数 2012年 41週 (2012/10/08～2012/10/14)

2012年10月17日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	63	1.17	43	3.07	15	1.36	1	0.10	3	0.43	-	-	-	-	1	0.17
咽頭結膜熱	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	5	0.36	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	8	1.33
感染性胃腸炎	210	3.89	52	3.71	43	3.91	59	5.90	14	2.00	16	4.00	6	3.00	20	3.33
水痘	25	0.46	14	1.00	3	0.27	5	0.50	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	24	0.44	12	0.86	6	0.55	3	0.30	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	11	0.20	5	0.36	3	0.27	2	0.20	-	-	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	21	0.39	6	0.43	5	0.45	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	7	1.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	3	0.60	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	1.40	-	-	3	3.00	-	-	-	-	4	4.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 41週 (2012/10/08～2012/10/14)

2012年10月17日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	5	0.36	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	8	1.33
感染性胃腸炎	210	3.89	52	3.71	43	3.91	59	5.90	14	2.00	16	4.00	6	3.00	20	3.33
水痘	25	0.46	14	1.00	3	0.27	5	0.50	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	11	0.20	5	0.36	3	0.27	2	0.20	-	-	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	21	0.39	6	0.43	5	0.45	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	7	1.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	3	0.60	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第41週 2012/10/08~2012/10/14)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	63	6	18	29	5	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	-	-	-	2	3	1	1	2	-	1	2	1	-	3
感染性胃腸炎	210	6	26	39	22	14	17	7	9	6	8	7	23	11	15
水痘	25	1	-	3	3	2	9	1	1	3	1	1	-	-	-
手足口病	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
突発性発疹	24	-	10	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	11	-	-	-	5	1	2	1	1	-	-	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	21	-	-	1	2	-	3	2	3	2	2	2	3	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	2

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

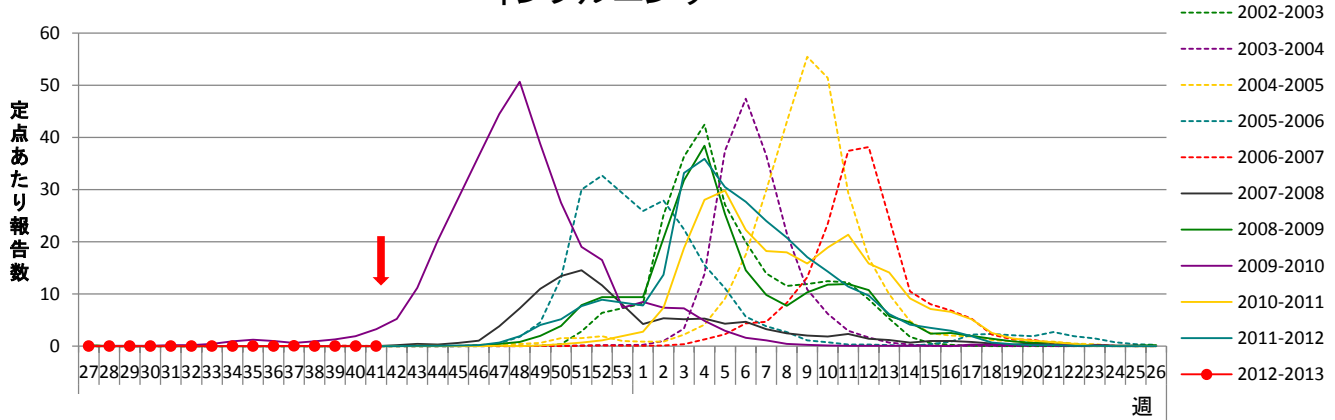
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

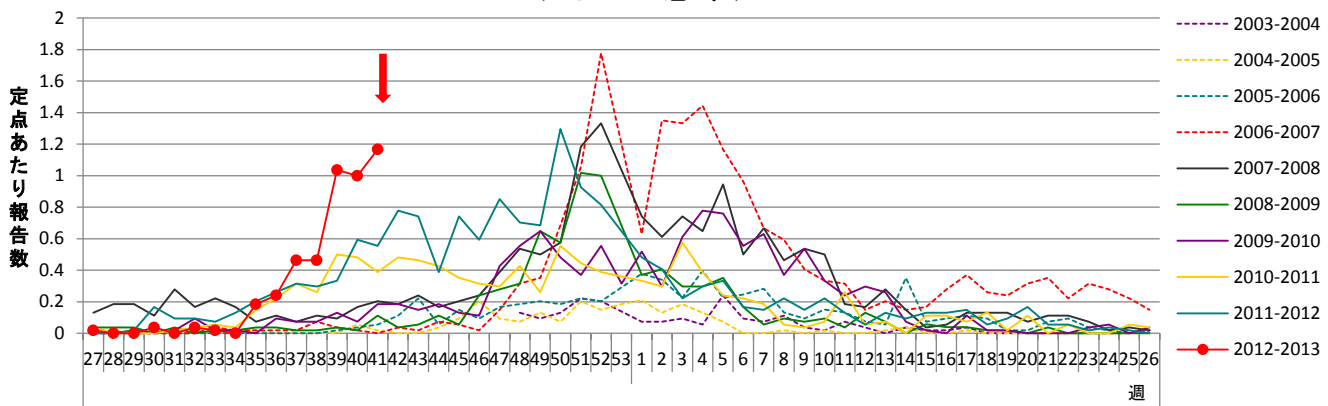
2012年 41週

分類	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-						-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	5	364	557	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	3	153	67
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	2	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	3	デング熱	-	1	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	20	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	10	11	ウイルス性肝炎*3	-	5	9	急性脳炎*4	-	1	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	14	15	ジアルジア症	-	2	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	6	9	破傷風	-	1	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	2	-	風しん	-	6	1
	麻しん	-	6	4						-	-	-

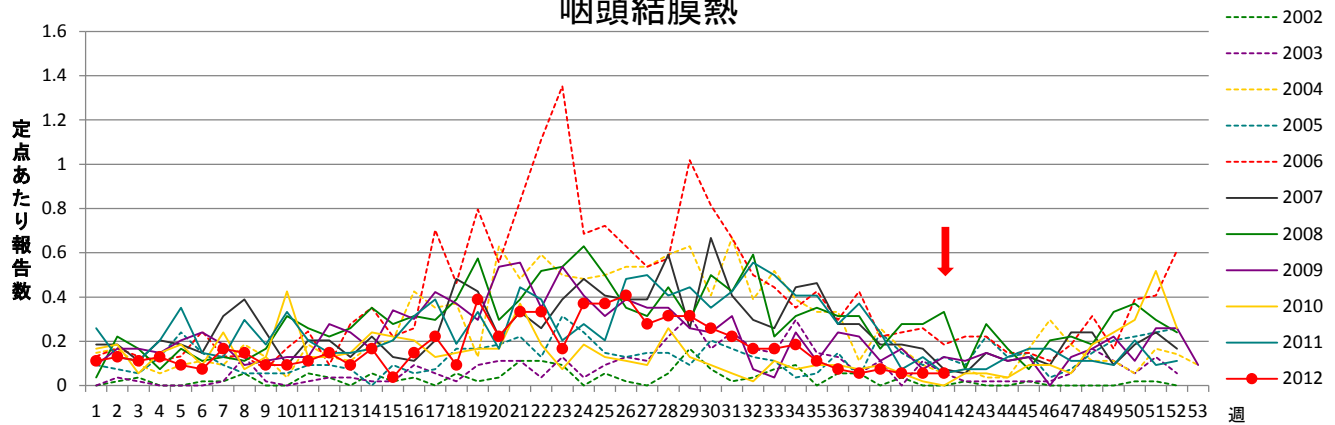
インフルエンザ



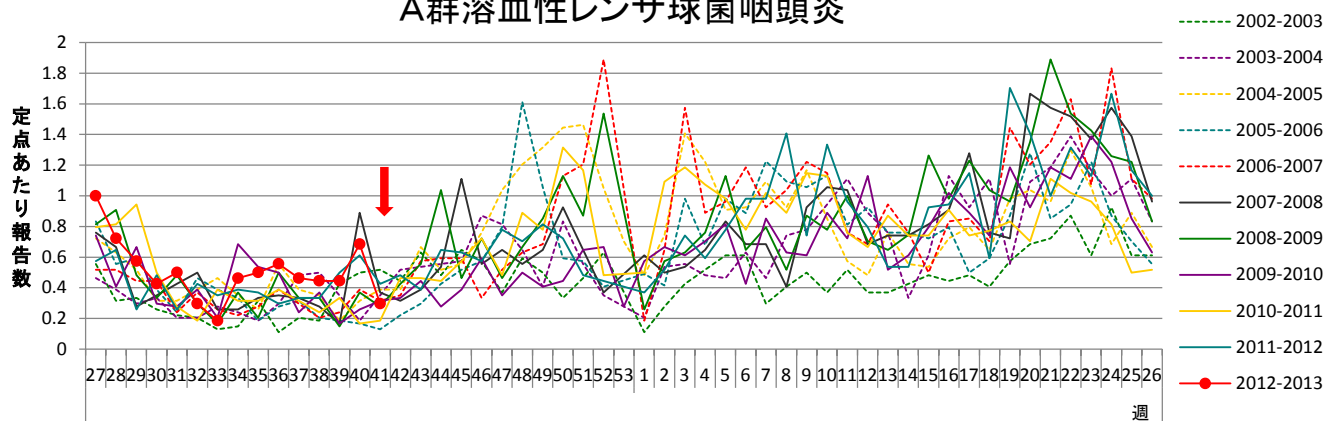
RSウイルス感染症



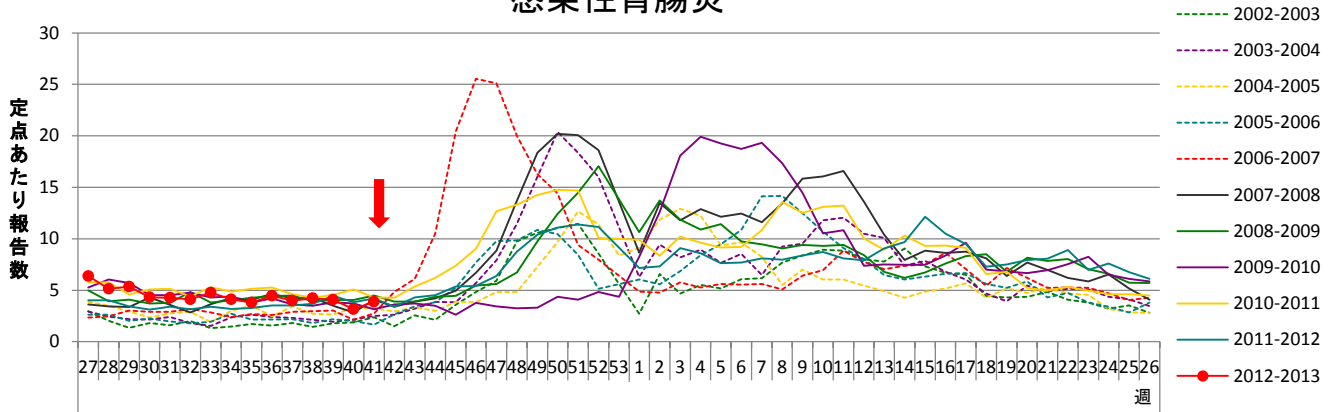
咽頭結膜熱



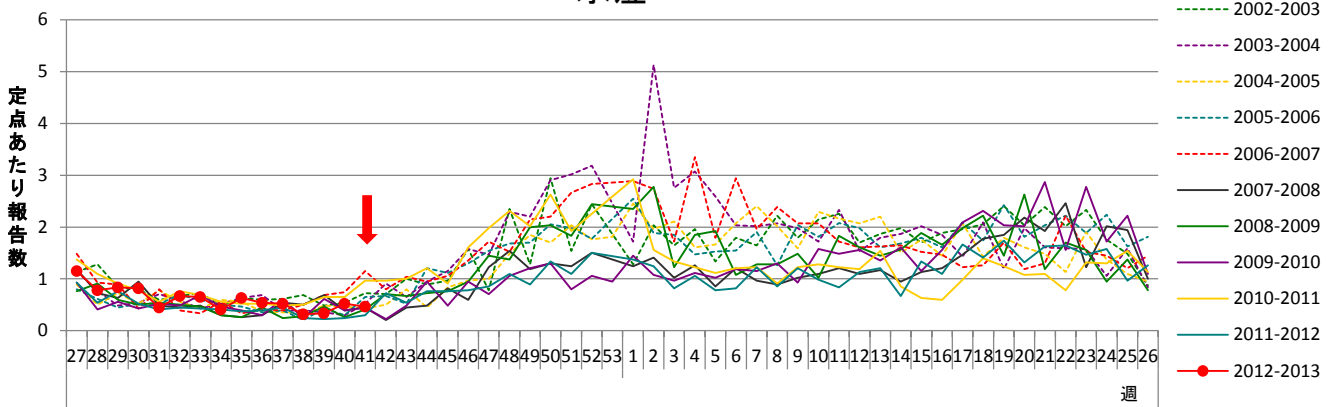
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



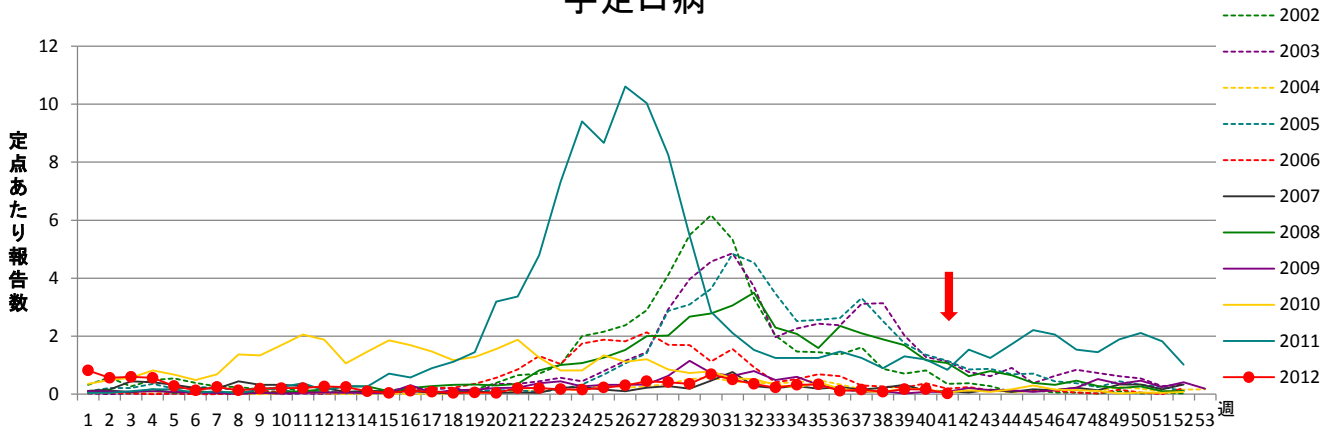
感染性胃腸炎



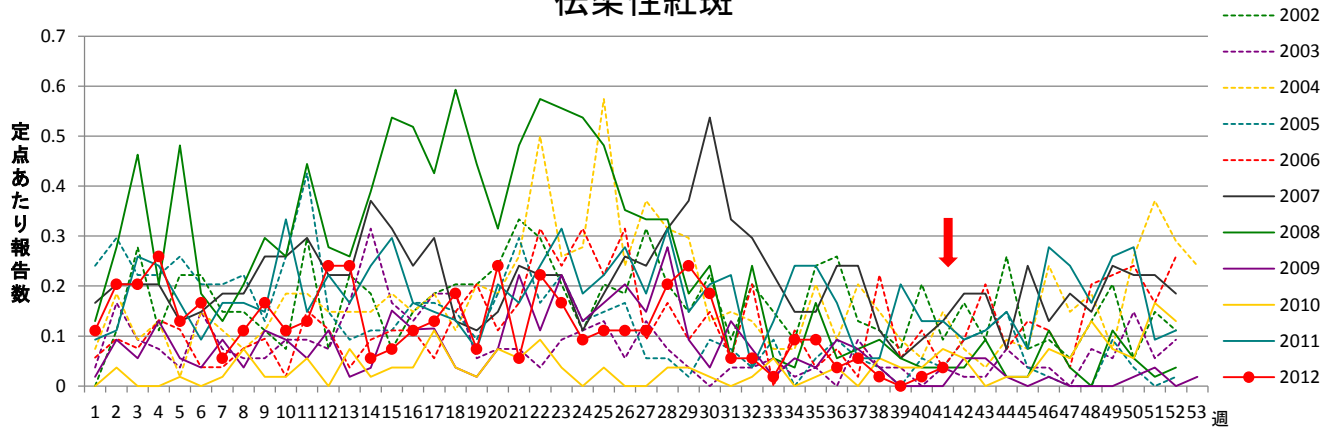
水痘



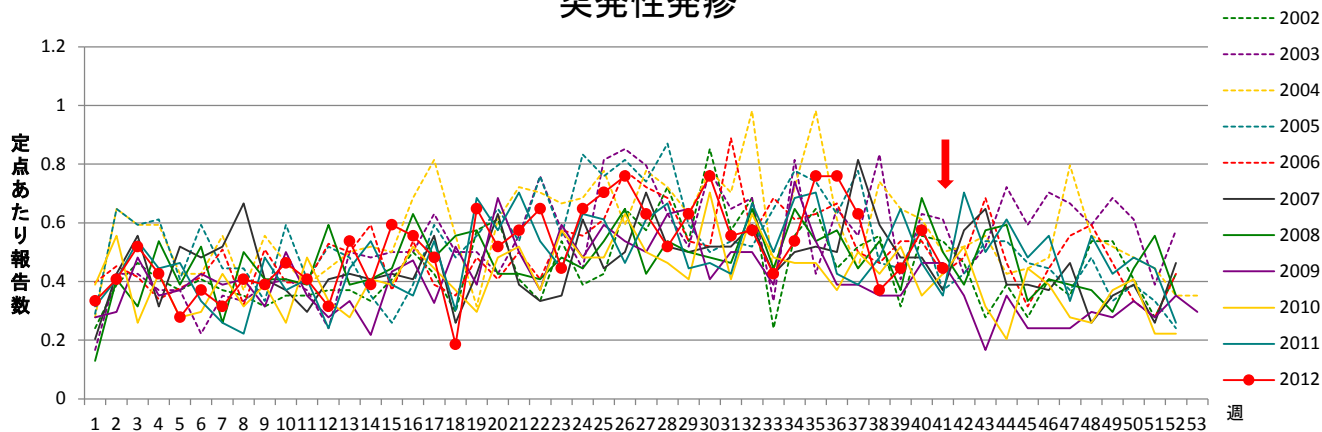
手足口病



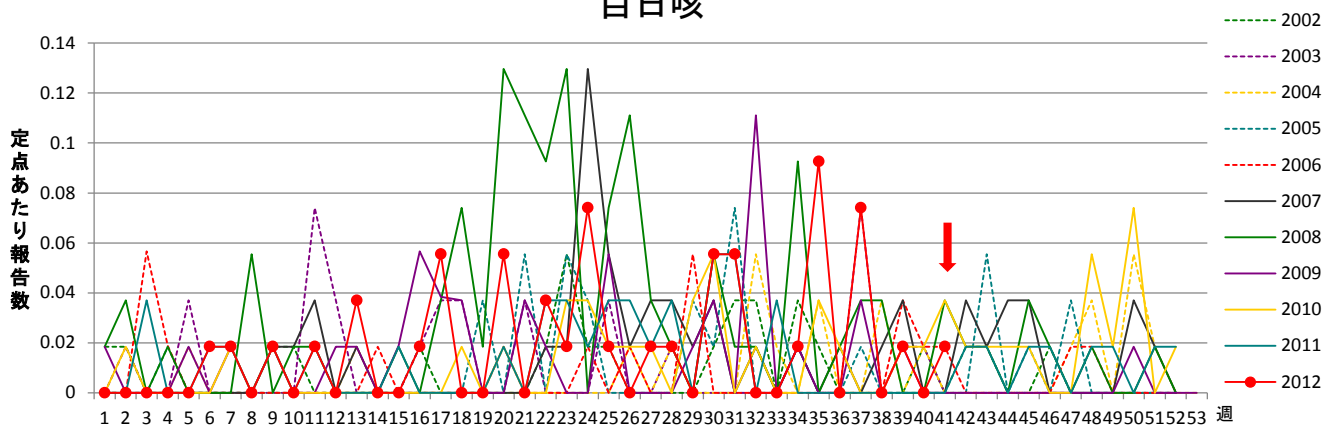
伝染性紅斑



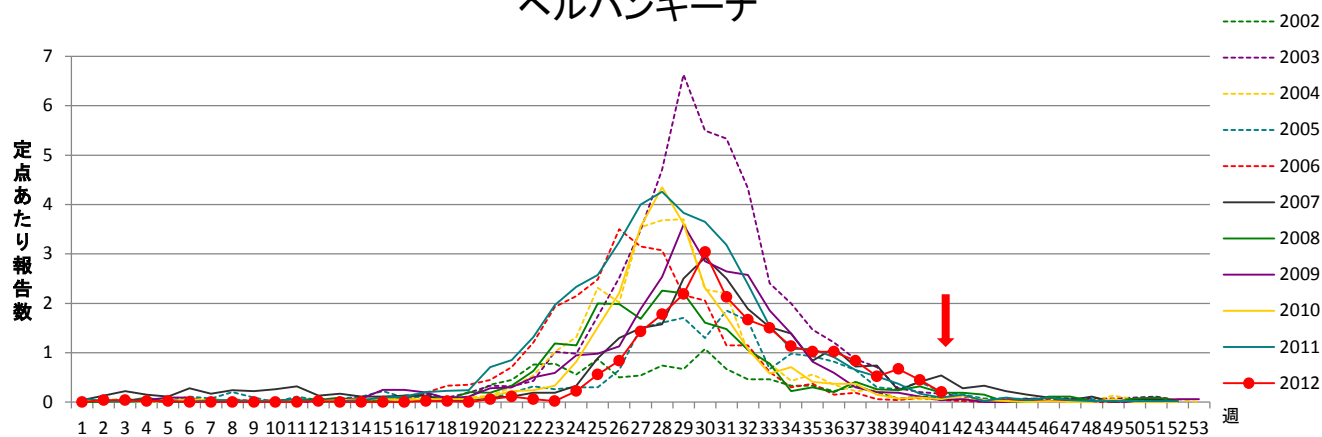
突発性発疹



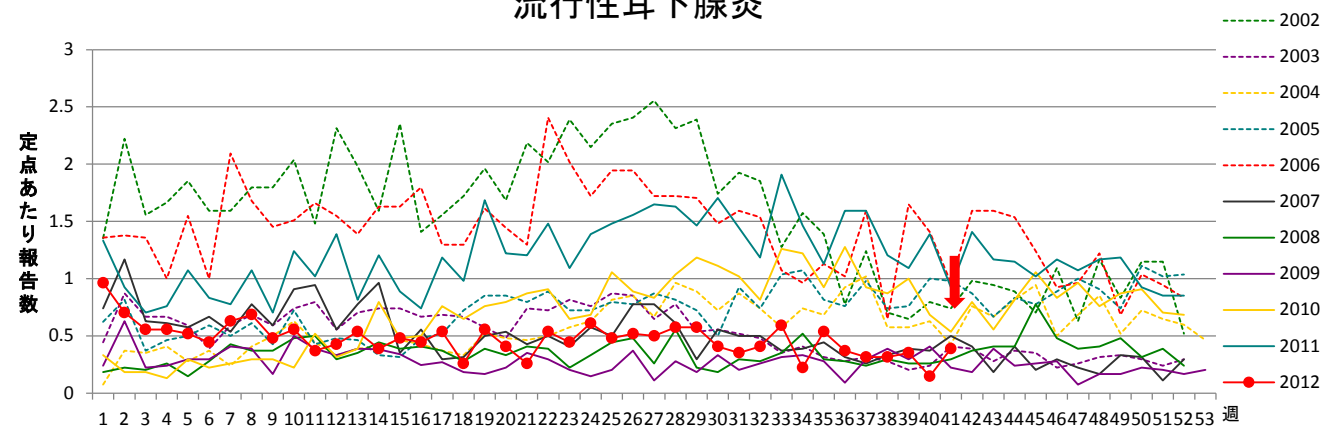
百日咳



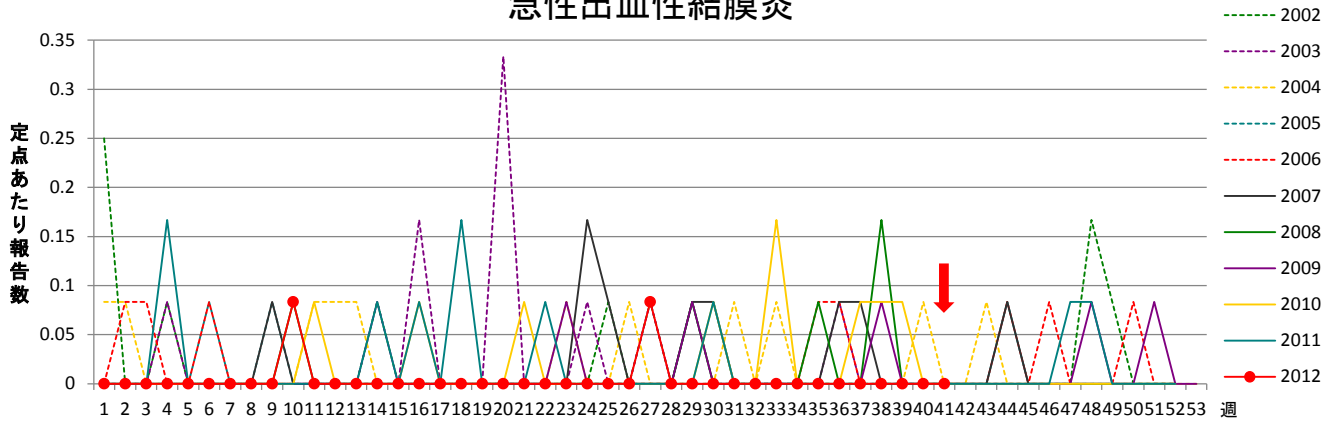
ヘルパンギーナ



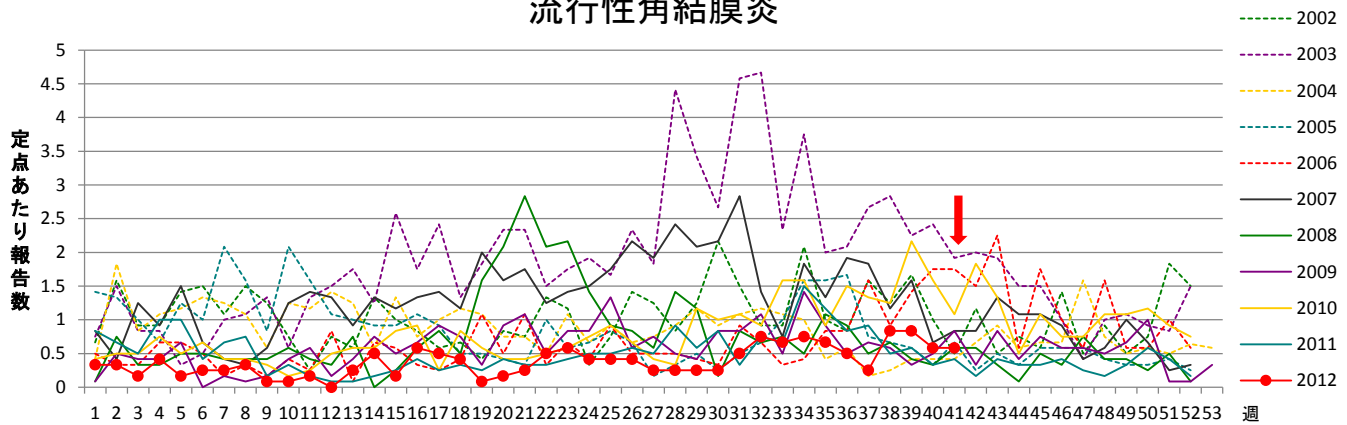
流行性耳下腺炎



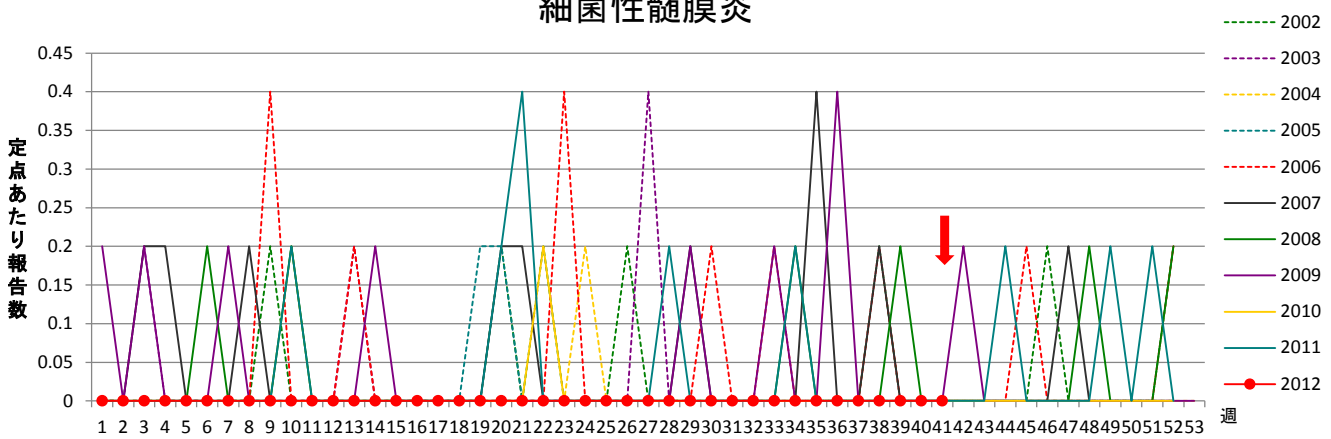
急性出血性結膜炎



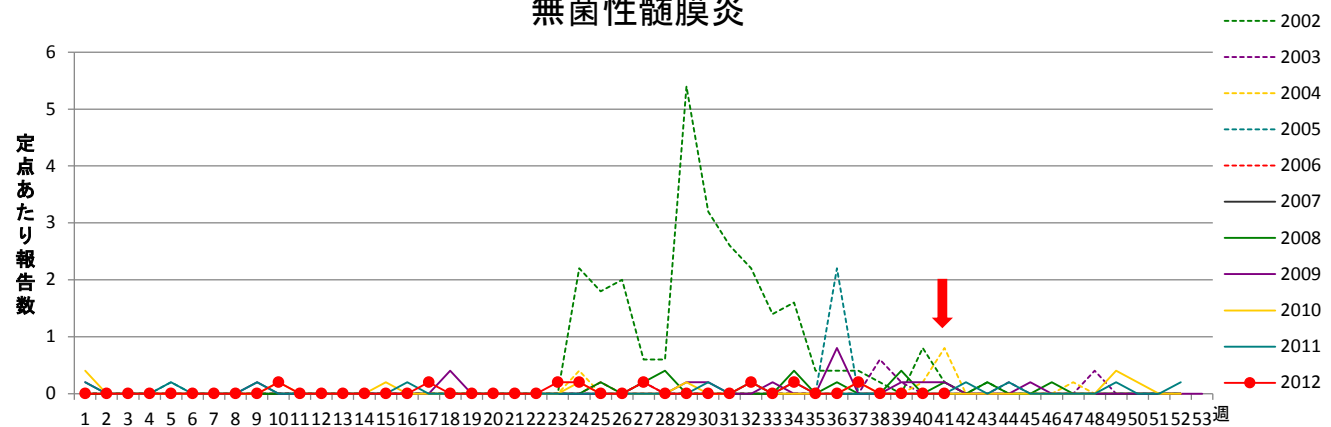
流行性角結膜炎



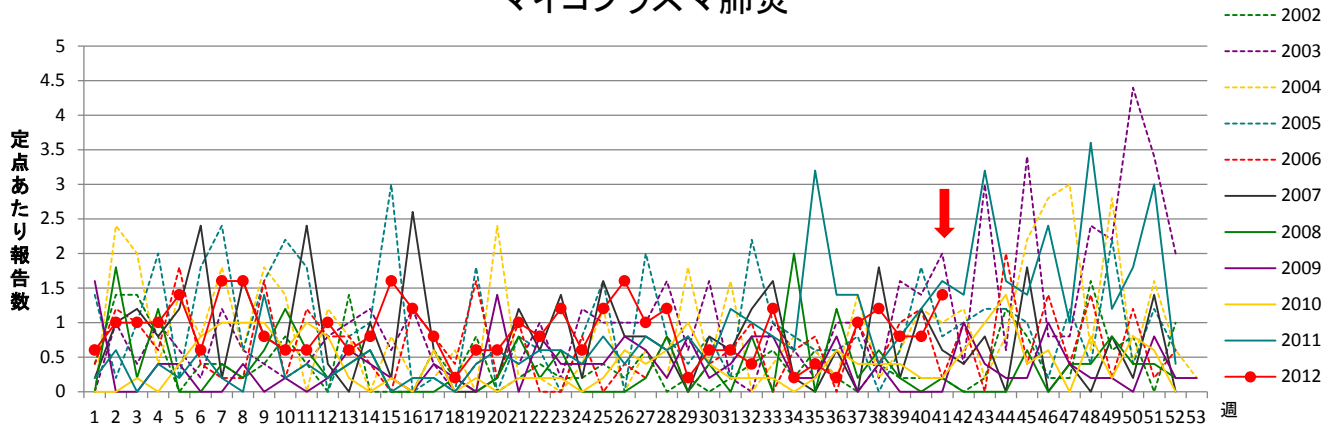
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

